

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年8月12日
【四半期会計期間】	第18期第2四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	メディカル・データ・ビジョン株式会社
【英訳名】	Medical Data Vision Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩崎 博之
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田美土代町7番地
【電話番号】	(03)5283-6911(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 グループ管理本部長 柳澤 卓二
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田美土代町7番地
【電話番号】	(03)5283-6911(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 グループ管理本部長 柳澤 卓二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第2四半期連結 累計期間	第18期 第2四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自2019年1月1日 至2019年6月30日	自2020年1月1日 至2020年6月30日	自2019年1月1日 至2019年12月31日
売上高 (千円)	1,786,339	2,046,556	4,026,576
経常利益 (千円)	270,479	476,941	804,606
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	173,499	319,178	554,315
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	161,672	319,178	545,648
純資産額 (千円)	3,639,984	3,753,494	4,023,960
総資産額 (千円)	4,447,481	4,667,365	4,948,542
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	4.33	8.06	13.85
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	81.1	79.7	80.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	879,705	415,659	1,202,240
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	25,359	16,980	31,266
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	199,345	589,644	199,345
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,679,041	2,753,985	2,944,950

回次	第17期 第2四半期連結 会計期間	第18期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2020年4月1日 至2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	2.61	4.24

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において新たに発生した事業等のリスクは、次の通りであります。

なお、本項記載事項のうち将来に関する事項は、将来において発生する可能性があるすべてのリスクを網羅するものではなく、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大について

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大による当社グループの事業への重大な影響は、現時点において観測されておりません。しかしながら、今後の経過によっては、当社グループの業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの主たる事業領域である医療関連業界におきましては、質が高く、効率的な医療・介護の提供体制の構築が求められている中、2020年度の診療報酬改定により全体では、0.55%の引上げとなりました。また、医療関連業界をはじめ、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大による影響は、予断を許さない状況にありますが、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績に重大な影響は観測されておりません。

このような事業環境のもと、医療機関向けのパッケージ販売を主としたデータネットワークサービスにおいては、DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の導入数が782病院と、大規模なDPC実施病院のベンチマークデータを保有いたしております。また、病院向け経営支援システム「Medical Code」の導入数は270病院となりました。

データ活用サービスにおいては、EBM（Evidence based medicine：根拠に基づいた医療）分野を中心に、主として製薬会社向けに、当社が保有する大規模診療データベースを用いた調査・分析サービス等の売上が順調で、1,283,661千円（前年同四半期比21.9%増）となりました。医療関連業界においてもビッグデータの活用が目目されている中、大規模診療データベースは、2020年6月末現在で、実患者数が3,207万人となりました。

また、診療情報共有及び医療費専用後払いサービス「CADA-BOX」の導入及び包括データ利用契約締結により、リアルタイム診療データベースは、2020年6月末現在で、80万人規模、そして、2020年4月より提供を開始した健康保険組合のデータベースは、2020年6月末現在で、568万人となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,046,556千円（前年同四半期比14.6%増）となり、売上総利益は1,735,726千円（前年同四半期比19.1%増）となりました。

販売費及び一般管理費については、主に人件費や研究開発費の増加に伴い、1,260,175千円（前年同四半期比6.1%増）となりました。その結果、営業利益は475,550千円（前年同四半期比75.9%増）となりました。

営業外収益として主に補助金収入、営業外費用として主に自己株式の取得に伴う支払手数料を計上したことにより、経常利益は476,941千円（前年同四半期比76.3%増）となりました。

また、特別損失として固定資産除却損を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は476,639千円（前年同四半期比76.4%増）となりました。

法人税、住民税及び事業税を124,661千円計上し、法人税等調整額を32,800千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は319,178千円（前年同四半期比84.0%増）となりました。

#### (2) 財政状態に関する分析

##### 1. 資産、負債及び純資産の状況

###### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高は、前連結会計年度末と比べて281,176千円減少し、4,667,365千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて210,278千円減少し、3,661,729千円となりました。これは主に、売掛金の回収や製薬会社向け年間サービスの入金があった一方で、自己株式の取得等に伴う支出をした結果、現金及び預金が190,965千円、債権回収が順調に進んだことにより売掛金が120,232千円、減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて70,898千円減少し、1,005,635千円となりました。これは主に、無形固定資産が36,746千円、有形固定資産が31,466千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比べて10,710千円減少し、913,870千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて10,859千円減少し、841,796千円となりました。これは主に、製薬会社向け年間サービスの入金に伴い前受収益が200,382千円増加した一方、賞与の支給に伴い賞与引当金が99,557千円、未払金等の減少に伴い、その他の流動負債が105,625千円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて149千円増加し、72,074千円となりました。これは、資産除去債務が149千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産残高は、前連結会計年度末と比べて270,466千円減少し、3,753,494千円となりました。これは、利益剰余金が319,178千円増加したものの、自己株式を589,644千円取得したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、2,753,985千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、415,659千円(前年同四半期は879,705千円の収入)となりました。これは主に、プラス要因として、税金等調整前四半期純利益が476,639千円、前受収益の増加が200,382千円、マイナス要因として、賞与引当金の減少が99,557千円、また、前払費用の増加に伴い、その他の営業活動によるキャッシュ・フローが172,280千円減少したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、16,980千円(前年同四半期は25,359千円の収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が7,782千円、敷金の差入による支出が7,511千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、589,644千円(前年同四半期は199,345千円の収入)となりました。これは、自己株式の取得による支出が589,644千円であったことによるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発活動は、主として新サービス開発によるものであり、研究開発活動の金額は、33,415千円であります。

(6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社グループは財務の安全性を重視するとともに、銀行借入に依存しない経営を継続しております。資金の運用は短期的な預金等に限定するとともに、運転資金については内部資金により調達することを原則としております。

当社グループの運転資金需要の主なものは、人件費をはじめとする販売費及び一般管理費等の営業費用であり、これらの支出は内部資金によっております。また設備投資資金等についても、現金及び預金を使用することとしており、安全性を重視しつつも効率的な資金運用を目指しています。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定、または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	119,673,600
計	119,673,600

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	40,027,526	40,027,526	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 また、単元株式数は100株であります。
計	40,027,526	40,027,526	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日		40,027,526		992,661		250,000

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
富士フイルム株式会社	東京都港区西麻布2-26-30	7,792,800	19.77
株式会社メディパルホールディングス	東京都中央区八重洲2-7-15	3,212,600	8.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	2,848,600	7.23
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク エヌ・エイ東京支店)	7TH FLOOR, 155 WELLINGTON STREET WEST TRONT, ONTARIO, CANADA (東京都新宿区6-27-30)	1,758,800	4.46
鈴木 隆啓	愛知県岡崎市	1,475,000	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海1-8-11	1,460,700	3.70
岩崎 博之	東京都江東区	1,159,214	2.94
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟	1,032,700	2.62
シミックホールディングス株式会社	東京都港区芝浦1-1-1	960,000	2.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	900,100	2.28
計	-	22,600,514	57.32

(注) 1. 「発行済株式総数(自己株式数を除く。)に対する所有株式数の割合」は、小数点第3位以下を四捨五入して記載しております。

- JTCホールディングス株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及び資産管理サービス信託銀行株式会社は2020年7月27日付で合併し、商号を株式会社日本カストディ銀行に変更しております。
- 2020年4月7日付で公衆の縦覧に提供されている大量保有報告書(変更報告書)において、みずほ証券株式会社、及びその共同保有者であるアセットマネジメントOne株式会社が2020年3月31日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として2020年6月30日現在における実質所有株式数の確認ができておりませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書(変更報告書)の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
みずほ証券株式会社	東京都千代田区大手町1丁目5番1号	株式 61,800	0.15
アセットマネジメントOne株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目8番2号	株式 3,711,700	9.27

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 601,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 39,416,800	394,168	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。また、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 9,226	-	-
発行済株式総数	40,027,526	-	-
総株主の議決権	-	394,168	-

(注) 「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式29株が含まれております。

## 【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
メディカル・データ・ビジョン株式会社	東京都千代田区神田美土代町7番地	601,500	-	601,500	1.50
計	-	601,500	-	601,500	1.50

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,944,950	2,753,985
売掛金	757,420	637,188
原材料	12,804	16,899
その他	179,300	276,596
貸倒引当金	22,467	22,940
流動資産合計	3,872,007	3,661,729
固定資産		
有形固定資産	233,833	202,367
無形固定資産		
ソフトウェア	14,018	12,778
のれん	342,561	307,055
無形固定資産合計	356,580	319,834
投資その他の資産		
その他	491,286	488,600
貸倒引当金	5,166	5,166
投資その他の資産合計	486,120	483,434
固定資産合計	1,076,534	1,005,635
資産合計	4,948,542	4,667,365
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	33,709	23,158
未払法人税等	138,960	143,452
前受収益	291,337	491,720
賞与引当金	100,167	610
その他	288,480	182,855
流動負債合計	852,656	841,796
固定負債		
資産除去債務	71,925	72,074
固定負債合計	71,925	72,074
負債合計	924,581	913,870
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	992,661	992,661
資本剰余金	1,756,245	1,756,245
利益剰余金	1,241,490	1,560,669
自己株式	726	590,371
株主資本合計	3,989,671	3,719,205
非支配株主持分	34,289	34,289
純資産合計	4,023,960	3,753,494
負債純資産合計	4,948,542	4,667,365

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,786,339	2,046,556
売上原価	328,615	310,830
売上総利益	1,457,723	1,735,726
販売費及び一般管理費	1,187,333	1,260,175
営業利益	270,389	475,550
営業外収益		
受取利息	105	11
補助金収入	-	2,000
その他	46	70
営業外収益合計	152	2,081
営業外費用		
支払利息	43	-
支払手数料	-	651
その他	19	39
営業外費用合計	63	690
経常利益	270,479	476,941
特別損失		
固定資産除却損	318	301
特別損失合計	318	301
税金等調整前四半期純利益	270,161	476,639
法人税、住民税及び事業税	122,516	124,661
法人税等調整額	14,027	32,800
法人税等合計	108,488	157,461
四半期純利益	161,672	319,178
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	11,827	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,499	319,178

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	161,672	319,178
四半期包括利益	161,672	319,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,499	319,178
非支配株主に係る四半期包括利益	11,827	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	270,161	476,639
減価償却費	59,142	45,432
のれん償却額	27,110	35,506
貸倒引当金の増減額(は減少)	363	472
賞与引当金の増減額(は減少)	-	99,557
事業損失引当金の増減額(は減少)	12,091	-
受取利息	105	11
固定資産除却損	318	301
株式報酬費用	3,834	5,539
売上債権の増減額(は増加)	423,532	120,232
たな卸資産の増減額(は増加)	3,446	9,448
仕入債務の増減額(は減少)	1,431	10,551
未払金の増減額(は減少)	20,175	33,345
未払費用の増減額(は減少)	3,373	30,335
前受収益の増減額(は減少)	298,277	200,382
その他	18,415	172,280
小計	1,026,565	528,976
利息及び配当金の受取額	105	11
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	146,965	113,328
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>879,705</b>	<b>415,659</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100,042	-
有形固定資産の取得による支出	71,986	7,782
無形固定資産の取得による支出	2,610	1,977
敷金の差入による支出	71	7,511
敷金の回収による収入	-	72
貸付金の回収による収入	500	-
その他	515	219
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>25,359</b>	<b>16,980</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	55	589,644
非支配株主からの払込みによる収入	199,992	-
リース債務の返済による支出	590	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>199,345</b>	<b>589,644</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,104,411	190,965
現金及び現金同等物の期首残高	1,574,630	2,944,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,679,041	2,753,985

## 【注記事項】

## (追加情報)

(新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与えており、当連結第2四半期末以降も一定期間にわたって継続することが想定されます。

このような状況で当社は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による影響は当連結会計年度末に向けて徐々に回復していくものと仮定しており、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りに与える影響は限定的であると考えております。

なお、この仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の収束時期は不透明であることから、今後の実際の新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大による影響の推移が上述の仮定と乖離する場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

## (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
給与手当	435,405千円	467,707千円
貸倒引当金繰入額	363	472

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金勘定	2,679,041千円	2,753,985千円
現金及び現金同等物	2,679,041	2,753,985

## (株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## (株主資本の金額の著しい変動)

当社は、2020年2月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式600,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が589,644千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が590,371千円となっております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは、医療データネットワーク事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、医療データネットワーク事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 1月 1日 至 2019年 6月 30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月 30日)
1 株当たり四半期純利益	4 円33銭	8 円06銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益 ( 千円 )	173,499	319,178
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益 ( 千円 )	173,499	319,178
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	40,026,013	39,590,832

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

( 株式取得による会社等の買収 )

当社は、株式会社システム ビー・アルファ ( 以下「Be・」 ) の全株式の取得につき、以下の事項を前提とした決議を2020年7月13日開催の取締役会にて行い、株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式譲渡契約に基づき、当社は2020年10月1日付でBe・の株式の全部を取得し、連結子会社化することといたします。

( 1 ) 株式取得の目的

当社グループは創業当時から、「医療・健康情報の一元化と利活用を促進し、生活者メリットの創出に貢献する」を目指して事業を推進しています。病院、クリニック、介護施設等をはじめとする、医療・健康情報の一元化を行うことで、患者が自身の診療履歴や健康状態を管理・閲覧できる環境の創出、また、データ分析による更なる医療の質向上に寄与できるものと考えております。

この度子会社化するBe・は、健診システムの開発・販売、電子カルテ等の代理店販売事業を主軸とし、当該領域に関する知見及び九州地方を中心に中小規模病院やクリニックをはじめとする医療機関とのネットワークを保有しています。Be・の経営資源を活用することで、当該領域の知見を吸収できるほか、健康診断など未病領域の情報をスピーディに集積できると考えております。

( 2 ) 買収する会社の概要

名称 株式会社システム ビー・アルファ  
 事業内容 健診システムなどソフトウェアの開発・販売  
 電子カルテ等の代理店販売  
 資本金 35,000千円

( 3 ) 株式取得の時期

2020年10月1日 ( 予定 )

( 4 ) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

取得する株式の数 普通株式700株  
 取得価額 相手先との守秘義務があり、非開示としております。  
 取得後の持分比率 100%

( 5 ) 支払資金の調達方法

自己資金

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月11日

メディカル・データ・ビジョン株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 基之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹田 裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているメディカル・データ・ビジョン株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、メディカル・データ・ビジョン株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。